



▲市民病院の胃がん腹腔鏡下手術について説明する津谷市長

津谷市長の定例記者会見が8月2日、市役所で開かれ、きたあきた子ども議会や北秋田市市民病院における胃がん腹腔鏡下手術などについて説明しました。

市民病院の胃がん腹腔鏡下手術を説明

津谷市長定例記者会見

8月8日に開催されるきたあきた子ども議会については「市になってから初めての開催となり、次世代を担う子どもたちに議会の仕組みや政治に対する興味、関心を持ってもらう良い機会になることはもちろん、自分たちの生まれたふるさとの良さや問題を真剣に考えることで、北秋田市をもっと好きになってもらえるものと期待しています」と話しました。

市民病院における胃がん腹腔鏡下手術については「7月30日に『がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン』に基づく第一例目の手術が行われました。このプランは、次世代のがん治療の専門家を養成するため、東京医科大学を主管校に秋田大学などの連携によるプロジェクトであり二次医療圏内がん拠点病院やがん推進病院のない当地域においても、国内最高レベルの医療を受けることができ、市民病院の勤務医の先生も間近で一流の医療技術に触れることができることから、専門医の養成と北秋田地域医療全体のレベルアップを目指して行われるものです」と述べました。

さらに「8月上旬には第二例目の手術が行われる予定で、11月頃には医療関係者向けだけでなく、市民の皆さんを対象にした講演会を開催することにしています。今後より一層のレベルアップに努めて、市民の皆様から信頼される市民病院となるよう、引き続き病院や秋田大学とともに取り組んでいきたい」と強調しました。

更なる知名度の向上と販売拡大を

「北あきたバター餅」記念日制定イベント

北秋田市発祥のスイーツ「北あきたバター餅」の記念日制定イベントが7月23日、中央公民館で開かれ、参加者がバター餅でにぎわったこの一年を振り返りながら、楽しくておいしい一日を過ごしました。

このイベントは、昨年7月23日に「バター餅の里」宣言を行い、「日本バター餅協会」が設立されたことから、この日を「北あきたバター餅の日」として制定し、更なる知名度の向上と誘客、販売拡大による地域の活性化を図るものです。

はじめに日本バター餅協会の村井松悦会長が「北あきたバター餅は地



▲「バターもちのうた♪」に合わせバターもち体操をする参加者

域の人々の思いと共に歩んできた郷土の味です。真の地域活性化に資するため、7月23日を北あきたバター餅の日として制定することにしました。本日のイベントではバター餅を食ベスタミナをつけて、暑い夏を乗り切ってください」などとあいさつ。北秋田市長は「当初は一過性のブームと言われていましたが、一年経過後もその勢いはとどまることなく、経済効果も上がり、市民の方が元気になるよう取り組んでいきたい」などとあいさつしました。

続いて、担当職員が「バター餅の一年」と題して、全国的な知名度を得るまでの取り組みや経緯を紹介。この後「バターもちのうた♪」を作曲・作詞し、「バターもち体操」を考案したシンガーソングライターの本城奈々さんと、北あきたバター餅のイメージキャラクター「バターもち」が登場し、歌と踊りで会場を盛り上げました。また、バター餅が振る舞われたほか、真夏に最適な新たなバター餅の食べ方を秋田北鷹高校家庭クラブが提案し、試食コーナーは大盛況となりました。

日韓のかけ橋になることを期待

韓国木浦共生園一行が来市

韓国木浦市にある児童養護施設「木浦共生園」の一行12人が8月2日、市役所を表敬訪問し、津谷市長らと懇談しました。

木浦共生園は、1928年、尹致浩（ユン・チホ）さんが7人の孤児と生活を共にしたのが始まりです。やがて尹さんは日本人の田内千鶴子さんと結婚。朝鮮戦争中行方不明になった後は千鶴子さんが園を守り、生涯3000人の孤児を育て、「韓国孤児の母」と慕われました。

七日市の吉野郷にある児童養護施設陽清学園の子どもたちが、平成16年に木浦共生園を訪問したのを契機



▲「世界に一つだけの花」を日本語で歌う木浦共生園一行

に交流が始まり、毎年交互に訪問し合いながら、日韓交流を深めてきました。北秋田市への訪問は、東日本大震災の影響で一度中止となったため4年振りとなります。

今回は、千鶴子さんの孫の鄭愛羅（チヨン・エラ）園長をはじめ、中学1年生から高校3年生の子どもたち9人と職員2人が8月1日に来日。歓迎セレモニーで津谷市長は「市民の代表として皆さんを心から歓迎します。陽清学園の皆さんとも仲良くなり、これからの日韓のかけ橋となるよう心から期待しています」などと述べ一行を歓迎。続いて鄭園長が「田内千鶴子の精神を受け継いで、韓国と日本の民間大使としての心で交流しています。これからも、交流が未永く続くことを願っています」などとあいさつしました。

続いて、市長、三澤教育長と質疑を交わしながら懇談。プレゼント交換の後、一行が「世界に一つだけの花」を日本語で歌い歓迎に応えました。一行は5日まで滞在し、市内外の観光施設を訪れたほか、日韓交流会や児童生徒との交流会に参加し、懇親を深めました。

市長ダイアリー

◇7月16日～8月15日

7月16日(火)▽第63回社会を明るくする運動市民集会(文化会館)

17日(水)▽県道大館鷹巣線に関する要望書提出(北秋田地域振興局)

18日(木)▽平成25年度合川地区自治会長会議(合川庁舎)▽平成25年小阿仁川水系対策委員会総会(上小阿仁村役場)

19日(金)▽北秋田市周辺衛生施設組合正副管理者会議(衛生センター)

22日(月)▽平成25年度秋田岩手広域観光推進協議会総会(岩手県警石町)

23日(火)▽企業訪問(東京都)▽2013あきたリッチセミナーin TOKYO(東京都)

25日(木)▽柴トンネル貫通式(同所)▽平成25年度北秋田市周辺衛生施設組合議会(衛生センター)

27日(土)▽高速道路ネットワークを利用した地域づくりフォーラム(△inあきた(秋田市))

29日(月)▽平成25年度秋田県国有林野等所在市町村有志協議会(秋田市)

30日(火)▽平成25年度森吉山スキー場管理運営協議会総会(森吉庁舎)

31日(水)▽部長会議(本庁舎)▽県議との意見交換会(本庁舎)

8月1日(木)▽県道整備促進期成同盟会総会(上舟木生活改善センター)

2日(金)▽韓国木浦共生園表敬訪問(本庁舎)▽定例記者会見(本庁舎)

3日(土)▽長岐洋一氏旭日章叙勲受章祝賀会(ホテル松鶴)

6日(火)▽秋田県市町村防災危機管理ラポ(秋田市)

7日(水)▽平成25年度秋田県合併処理浄化槽普及促進協議会総会(森吉コミュニティセンター)▽秋田県県内市町村と誘致企業との懇談会(秋田市)

8日(木)▽平成25年きたあきた子ども議会(議事堂)▽北秋田市市民提案型まちづくり審査事業委員委嘱状交付式(本庁舎)

12日(月)▽平成25年北秋田市議会第3回臨時会(議事堂)▽北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合正副管理者会議(森吉庁舎)

▽平成25年第2回北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合議定例会(森吉庁舎)

15日(木)▽平成25年度北秋田市成人式(文化会館)